

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	39
2. 大学等名	お茶の水女子大学
3. テーマ	Ⅲ. 入試改革
4. 取組学部等名	全学部（文教育学部・理学部・生活科学部）
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	(391文字)
<p>本事業は、お茶の水女子大学の特別入試、とくに現在のA0入試を抜本的に改革し、多面的・総合的に志願者の意欲、適性、能力、基礎学力を見極める入試方法（「新フンボルト入試」と仮称する）を構築することを目的とする。募集定員を現在から倍増させ、文理合わせて全学で20人規模とし、丁寧で手間をかけた本学独自の新型A0入試を実施する。高大接続の要素をもつプレゼミナールおよび3日間にわたる本試験を通じて、基礎学力を担保しつつ受験生のもつ潜在力（ポテンシャル）を見極める。大学入学時に知的ピークを迎える学生ではなく、入学後の学修のなかで能力を大きく伸ばし、大学院に進学し社会に出てからさらにリーダーとして飛躍しうるといった「伸びしろ」のある学生を選抜する。本事業を本学の入試改革の第一歩と位置づけ、入試制度全体への改革へと広げると同時に、本学の特色ある教育システムと連動させて学士課程教育改革を加速させる。</p>	